

突然、ゆうパックが届いて、驚かれたかも知れませんね…

私は、2011年5月に、長尾先生とお話した者です。

5月の連休の頃、長尾先生と大宮監督が宮城県の気仙沼大島にいらして、車に乗っていたばあちゃんと、玄関で私と話をさせていただきました。

映画「無常素描」のチラシの写真の真ん中(?) 長尾先生が話しかけていらっしゃるのが、我が家のばあちゃん(義母)です。

先日、2月7日に、満94歳の誕生日を迎える事が出来ました。

先生がいらした頃は、まだデイサービスなどの介護サービスが再開出来てませんでしたが、今は月曜日から土曜日までデイサービスの利用が出来ますし、ショートステイの利用も、早めに予約すれば、大丈夫という状況で、とても助かっています。

震災直後は、電気もなくエアーマットが使えず、床ズレが出来て、どうしようかと思っていた所、ボランティアのお医者さんが各家庭を訪問し、診察をしてもらえたので、ひどくならず済みました。

お陰さまで、自宅介護が出来る状況だからこそ、ばあちゃんも無事誕生日を迎えられたのだと、痛感しています。

仮設住宅で暮らしていたら、お互いにストレスはかなりのものだったと思います。

こうして手紙を書いている今は、静かに眠っていますが、少し前までは、超ハイテンションで、ずーっとしゃべりっぱなしでした…

しゃべるだけじゃなく、手をたたくのも相当の音がして、夜は響きます。

それでも、自宅に居るから、どんなに騒いでも、家の中だけで近所にはきこえないでしょうから、本当に「家」があって有り難いの一言です。

先生の手紙に書かれた「平穏死」10の条件…読ませていただきました。

その事は、改めてお手紙書きたいと思っています。

今回は、もう少しで2年目の「あの日」の前に、大島のカレンダー & 気仙沼見聞思考(三二本) & 手作りの炊飯器ケーキを送らせていただきました。

炊飯ケーキは左側の茶色い方はブルーベリージャム入りで右側はあんこ入りです。

ご笑納 & ご賞味下されば、嬉しいです。

まとまり無いですが、この辺で…印刷で失礼します…